

海外安全対策情報第3四半期

セントビンセント

1. 社会・治安情勢

ゴンザルベス首相の下、比較的安定した政権運営が行われているものの、厳しい経済状況が続いており、雇用情勢及び治安にも影響が出ている。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

犯罪は全体的に増加傾向であり、侵入窃盗等の財産犯が多発している。農作物や家畜に対する窃盗も多発し、農業従事者に多大な被害を与えている。

専門家は経済状況が治安の悪化を招いているとしている。

大麻の栽培及び取引が盛んに行われており、多くの外国人も関わっていると言われている。警察は特にコカインの取締り及び銃器犯罪の取締りに力を入れている。

警察当局の犯罪発生件数報告によれば、第3四半期（7月～9月）の主な犯罪の発生の件数は1159件と前期（4月～6月）と比較して約0.4%の増加となっている。

犯罪種別の内訳は以下のとおり。

一般窃盗	: 482件 (前期比 -1.6%)
住居等侵入及び侵入盗	: 371件 (同 +3.3%)
殺人	: 10件 (同 -16.7%)
強盗	: 37件 (同 +32.1%)
性犯罪	: 25件 (同 +8.7%)
薬物犯罪	: 122件 (同 +4.3%)
銃器関連犯罪	: 55件 (同 -3.5%)

3. 邦人被害事案

当該情報には接していない。

4. テロ・爆弾事件発生状況

当該情報には接していない。

5. 誘拐・脅迫事件発生状況

当該情報には接していない。

6. 日本企業の安全に関わる諸問題

日本企業の安全に関わる問題は特段生じていない。